

1. テーマ
海外研修旅行で学校訪問した時の交流会で、お互いの学校や日常生活について紹介しよう！
○プロジェクト全体目標
学習指標：2～3 自分たちの住むまちや学校、日常生活について紹介スライドを作成し、交流会で紹介し、興味をもってもらうことができる。
○達成したいコミュニケーション能力指標
学3-a 学校生活で感じていることについて、語り合ったり、書いて伝えることができる。 学3-c 学校の特徴について、口頭で紹介しあうことができる。 学3-d 自分の学校の行事について口頭でまたは文章にして紹介することができる。 日2-a 日常生活行動について、その頻度や時間の長さを含めて、口頭で紹介しあうことができる。 食3-c 日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理について、口答または文章で紹介できる 衣3-b 今、自分たちの間で流行しているファッションについて、写真などを用いて、簡単に紹介しあうことができる。 交3-f 自分の住んでいる地域の交通事情について、口答または文章で説明できる。 人3-e 日本の家庭や学校で守らなければいけないマナーやルールについて、口答でまたは書いて説明できる。 世2-b 自分達の住んでいるまちや都市に対して思っていることを話すことができる。 自2-f 自分の住んでいる地域にある景勝地を口頭で紹介できる。
2. 学習シナリオ
〈場面状況〉 浦添商業高校2年国際観光科(80名)は、3月の海外研修旅行でマレーシアのメガリア高校と交流会をする。せっかくの機会なので、お互いの高校や地域について紹介し交流を深めることにした。そこで、観光一般の授業と連携して学校紹介スライドを作成し、予選会を開催し、交流会で発表するグループを決めることにした。
〈活動の流れ〉
1) 1クラス8グループに分ける(各グループ5名) [クラス活動]
2) 調査及び資料準備 [グループ活動]
① インターネットや図書館の資料を利用し、相手の国や生活情報、学校の様子について調べる。 ② お互いの国や学校生活について比較し、共通点や相違点を話し合う。 ③ どういう内容をスライドに取り入れていけば魅力的に伝えられるかを話し合い、紹介する内容を決定する。 ④ 役割分担をし、それぞれの分担箇所についてまとめていく(個人作業) ⑤ それぞれの担当箇所を1つにまとめ、全体のまとまりについて話し合い検討し、修正していく。 ⑥ 発表する際の台本を作成し、プレゼン時の役割分担をする。
3) クラス内で発表をする [クラス活動]・ 相互評価、教師の評価
① 発表順番を決め、順番に発表をしていく。 ② 他のグループの発表を聞き、評価をする。(ルーブリック使用)。 ③ 7, 8組の合同発表に出るグループを投票で決定する。(各クラス上位3グループ選出する) ④ グループ毎にもらった、評価シートをもとに、振り返りをおこなう。 ⑤ 7,8組それぞれで相手のクラスの発表映像を見て、交流会で発表するグループを選出する。 ※7組は8組の、8組は7組の代表グループの評価をおこなう(ルーブリック使用)
4) 本発表及び交流会～振り返り
① 学校訪問当日、交流会でお互いの代表による発表をおこない相互理解を深める。 ② 帰国後、全体の活動についての振り返りをおこなう。(振り返りシート)
総括的評価
1. スライド作品(内容、構成、見やすさ、中国語の語彙・表現) 2. 発表(発表態度、全体的なまとまり) 3. 記録簿(毎時間の活動の振り返り) 4. ルーブリック(生徒、教師) 5. 振り返りシート

4. 学習項目と3×3+3との対応

	言語領域	文化領域	グローバル社会
わか か る	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した語彙や表現を復習する 足りない語彙・表現を学習する 発表をする時の始めと終わりのあいさつを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> マレーシアの歴史・文化について理解する 他のグループの発表を聞き、自分たちの知らなかったマレーシアについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> マレーシアと私達のこれまでと今のかかわりについて知る。
で き る	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した語彙や表現を使って日本語で作ったパワーポイントを中国語と英語に訳する。 発表原稿を中国語で作成する。 他のグループの発表を聞き、ループリックで評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自国の文化とマレーシアの文化について比較し、共通点や相違点を分析する。 マレーシアの民族の種類について調べ、それぞれの文化の特徴を比較する 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット等を利用し、マレーシアの高校生について調べ、私達と比較分析し、まとめる。 発表に向けての役割分担を決め、練習し発表する。
つ な が る	<ul style="list-style-type: none"> 中国語や英語を使って、交流校の生徒と対話し、お互いに交流を深める。 ホームステイを通して、ホストファミリーと対話する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会でマレーシアの高校の特徴的授業を紹介してもらい、体験する。 ホームステイでマレーシアの伝統的な遊びを体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> マレーシアの高校を訪問し、お互いのことを紹介しあい、また授業を体験するなどして、理解を深める。 マレーシアの家庭で1日過ごし、交流を深める。 帰国後、体験してきたことをまとめ発表する
3 連 携	○関心・意欲・態度／学習スタイルとつながる	<ul style="list-style-type: none"> グループの一員としてお互いの得意分野を生かして協力して作品を作りあげる。 グループ内では積極的に意見を出しあい、グループ全員が納得いく作品を作り上げる。 	
	○既習内容・経験／他教科の内容とつながる	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で学習済みの語彙、表現を使用し、中国語でわかりやすく発表する。 観光一般、家庭科（被服・食物）、歴史、世界史 	
	○教室外の人・モノ・情報とつながる	<ul style="list-style-type: none"> 学校交流で現地の高校生と中国語・英語で交流する。 ホームステイを通して、マレーシアの生活を体験し、日本の遊びなど文化を伝える。 	

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015_実践課題
作成者：城間真理子／沖縄県立浦添商業高等学校教諭（中国語）

5. 総括的評価のためのポイント

1) グループへの参加

- ①積極的に話し合いに参加しているか
- ②よりよい作品づくりのためにグループに貢献できているか

2) 作品制作

- ①内容…マレーシアの高校生が興味を持ってくれる内容になっているか
- ②構成…構成やビジュアルエイドに工夫がみられ、見やすいものになっているか

3) 発表

- ①中国語の発音…伝わる発音で発表できているか
- ②声・流暢さ…聞き手を意識し、聴きやすいものになっているか
- ③聞き手とアイコンタクトを取りながら発表できているか

6. 総括的評価のための活動の指示文

指示文①（プロジェクト概要説明とグループ分け）※資料として配布

3月の海外研修旅行でマレーシアのSMK メガリア高校と学校交流をすることになりました。せっかくのチャンスなので、我が浦添商業高校で私たちがどのように学校生活を送っているのかを知ってもらい、沖縄（日本）に興味を持ってもらって、将来は沖縄（日本）に観光に来て欲しいと考え、中国語と観光一般の授業で連携し、紹介スライドを作成し発表することになりました。

時間は限られていますが、最終的には相手が理解しやすいように、英語・中国語の2カ国語でスライドを訳します。

グループ分けについては皆さんに任せますが、1グループ5人、それぞれが得意分野を生かし合えるようなグループ分けをしてください。

- 1) **活動期間**：2016年1月初～2月下旬（授業数：18コマ＋放課後等）
- 2) **活動内容**：
 - ①プロジェクト説明、グループ分け分けし、（5名1グループ×8×2クラス）グループ内でリーダーや記録係などを担当を決める
 - ②インターネットや図書館等の資料を利用し、相手の国や生活情報について調べる
 - ③お互いの国や学校について比較し、共通点や相違点を出し合う
 - ④どういう内容をどのように取り入れるかを話し合い、紹介する内容を決定する
 - ⑤役割分担をし、それぞれの担当箇所についてまとめていく
 - ⑥それぞれの担当箇所を1つにまとめ、全体のまとまりについて話し合い、修正していく。
 - ⑦発表していることをイメージしながら、発表原稿を考える
 - ⑧出来上がったスライドを中国語と英語に訳す。
 - ⑨発表原稿を中国語に訳す。
 - ⑩発表する時の役割分担をする（メンバー全員が発表する）
 - ⑪クラス内発表を行い、上位4グループを決める（発表映像を撮る）
 - ⑫他クラスの上位4グループの発表映像を見て、上位1グループを決める
 - ⑬クラスの1位グループの発表映像をもう一度見て、交流会で発表するグループを決定する
 - ⑭全体の活動についての振り返り（振り返りシート）
 - ⑮学校交流本番

指示文②（調査及びスライド作成）

これから、マレーシアの学校や国について調査し、我々の地域との共通点や相違点について調べ、どんなことを発表内容にした方が良いのかグループで話し合って決めていきます。

パワーポイントを作成する際には発表スライドを見る相手のことを意識しながらまとめてください。写真等を使用する場合には、著作権、肖像権にも十分注意して下さい。

指示文③（発表準備）※資料として配布

皆さんの発表は、このループリックを使って評価をしていきます。（教師用と生徒用のループリックを提示）このループリックを参考に、グループ内で発表の練習をして下さい。

メンバーが発表している時は、聞き手になって、お互いにアドバイスし合ってください。

9. 学習者の個人的特性への対応

- ・グループ分けは、生徒達で話し合い、調整し合って決めてもらう。
 - ・グループ活動は、リーダーを中心として活発な話し合いができる雰囲気をつくる
 - ・毎時間それぞれの生徒の活動や気づきが見えるように、記録簿の記入を徹底させる。
 - ・記録簿の「今日の一押し」の欄には、グループで一番貢献した生徒を推薦してもらい、グループに貢献した生徒に加点する。（生徒のモチベーションを上げる）

◎【成果物】◎

- ①パワーポイント
- ②グループ発表映像
- ③ループリック（生徒用、教師用）
- ④記録簿（毎時間の記録）
- ⑤振り返りシート

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015_実践課題
 作成者：城間真理子／沖縄県立浦添商業高等学校教諭（中国語）

7. 総括的評価のための活動を評価するルーブリック

評価基準		目標以上を達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであとすこし (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
発表・態度	発音	発音が非常に正確である	完全な発音ではないが、コミュニケーションには問題がない	発音の問題のために意味が分かりにくいところがある	発音の問題が多く、意味がよくわからないことがある
	語彙	豊富な語彙を正しく使っている	必要な語彙を正しく使っている	ときどき語彙の間違いや語彙の不足が見られる	語彙の間違が多く、語彙が不足している
	流暢さ	よどみなく滑らかに話が進んでいる	たまに途切れたりするが、発表を全部終えることができる	ときどき話が途切れたり、詰まったり、沈黙がある	話しがとぎれ長い沈黙があったりし、内容理解しにくい
	声の大きさ スピード	はっきりした適度な音量で話し、よく聞き取れる	声ははっきりしていて聞きやすい	声小さくなるところもあり、聞き取りにくいところもある	声小さくなったり、ぶつぶつ話していて、聞き取りにくい
	アイコンタクト	常に聴衆とアイコンタクトを保ち原稿に頼っていない	聴衆とアイコンタクトを保ち、原稿を見ることはほとんどない	聴衆と時々アイコンタクトをしたが、原稿を読んでいることが多い	聴衆とのアイコンタクトが速く、終始原稿を読んでいる
スライド	構成・文字	聴衆の興味を引く順序でスライドが構成されており、字の大きさも字数もちょうど見やすい	聴衆のわかりやすさを考慮しているが、少し字数が多すぎたり、文字が小さかったりする	スライドの構成に少し問題あり 文字数が多く文字も小さく、見づらい部分がある	スライドの構成に問題があり、非常に理解しにくい。文字が小さく、字数が多すぎる
	写真等・イラストの ビジュアルエイド の使用効果	ビジュアルエイドを効果的に使い、発表をとてわかりやすいものにしている	発表に関するビジュアルエイドを適切に使っている	ときどきビジュアルエイドを使うが、発表の内容の理解を助けるものではない	発表にあまり関係のないビジュアルエイドを使うか、全くビジュアルエイドを使わない
	言語使用	文字、文法表現の間違いは全くない	文字、文法表現の間違いはわずかにあるが、理解できる	文字、文法表現の間違いが各所にみられる	文字、文法表現の間違が多く、理解するのが困難である
その他		<ul style="list-style-type: none"> グループのために、貢献しているか、どんな気づきがあったか、記録簿を記入し、毎時間の振り返りをする 発表時間が5分に満たない、または8分を超える場合は減点とする（-2点） 教師の評価とは別に、生徒同士の相互評価も加味し、順位毎に+点をグループ全員に与える（1位：8→8位：1点） 			

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015_実践課題
 作成者：城間真理子／沖縄県立浦添商業高等学校教諭（中国語）

8. 目標を分解表

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	テーマ
メガリア高校やその地域についてリサーチする	自分たちの学校や地域とメガリア高校とその地域の共通点や相違点についてまとめる	マレーシアの高校生が、興味を持ってくれるスライドを作成する	交流校の社会や文化の違いに配慮し、学校紹介スライドを作成し、自分達の学校や沖縄(日本)を魅力的に中国語で紹介しよう！	私達の学校や地域、日常生活について紹介スライドを作成し、交流会で魅力的に紹介できる 【場面状況】 浦添商業高校2年国際観光科は、3月の海外研修旅行でマレーシアのメガリア高校と交流会をする。せっかくの機会なので、お互いの高校や地域について紹介し交流を深めることにした。そこで、観光一般の授業と連携して学校紹介スライドを作成し、予選会を開催し、交流会で発表するグループを決めることにした。
本校の特徴や地域について話し合いまとめる				
メガリア高校(マレーシア)と本校や地域の共通点と相違点についてまとめる				
興味を持ってもらうにはどんな内容のスライドにするか話し合う				
分担してスライドを作成する				
分担して作っていたスライドを1つにまとめる				
スライドの構成についてグループで検討する				
パワーポイントを英語と中国語に訳す	中国語と英語でスライドを作成する	予選会で発表する		
【形成的評価】…中国語と英語に訳したスライドを提出する→フィードバックする				
発表原稿を作成する	クラス発表会の準備をする			
発表原稿を中国語に訳する				
【形成的評価】…中国語に訳した発表原稿を提出する→フィードバックする				
それぞれの発表担当を話し合いで決める	発表練習をする			
提示されたルーブリックを参考に発表練習をする				
発表グループ以外の生徒はルーブリックで評価し、上位4グループを選出する	他グループの発表を聞き評価する			
他クラスの上位4グループの発表映像を見て、評価し1グループを選出する				
7,8組合同でメガリア高校との交流会で発表するグループを選出する				
【総括的評価①】… 中国語で学校紹介の発表を行う。生徒用ルーブリック、教師用ルーブリック、発表映像				
【総括的評価②】… 振り返りシートと個人記録簿を提出する				